新宿区長宛て

団 体 名 特定非営利活動法人 臨床検査支援協会所 在 地 東京都中野区中央 1-44-6ステージ中野坂上 100 号

(フリガナ)ミヤザワ ユキヒサ代表者氏名理事長 宮澤 幸久印

## 新宿区協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第5条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 金 370,000 円

申詞	申請事業の分野 (該当の分野1つだけに○をしてください。なお、活動分野が複数の場合は、主要な分野に○をしてください。)				
$\bigcirc$	保健・医療・福祉		災害救援		情報化社会
	社会教育		地域安全		科学技術
	まちづくり		人権擁護・平和		経済活動
	観光		国際協力		職業能力開発•雇用機会拡充
	文化・芸術・スポーツ		男女共同参画		消費者の保護
	環境		子どもの健全育成		市民活動支援
	その他(				

# 事業計画書

団体名	特定非営利活動法人 臨床検査支援協会
事業名	新宿区民を対象とした健康体験フェアと健康セミナー
<ol> <li>事業目的・概要</li> </ol>	ア 事業目的 当会は、国民の健康と医療の発展に貢献することを目的に様々な活動を実施しております。 この度、新宿区民の皆様を対象とした健康体験フェアと健康セミナーの開催を企画いたしました。これらのイベントを通しまして、区民の皆様の健康への思いに少しでもお役に立てればと考えております。  イ 事業概要
	新宿区民の皆様にまずはご自身の健康状態に興味を持っていただくため、手軽な 非侵襲性検査機器(血液採取不要の触れるだけで測定できる検査機器)により、 現在の状態を把握いただく。更に健康セミナーにより医療機関で受ける臨床検査 への理解を深めていただき、必要があれば受診に繋がれば良いと考えます。
	新宿区の国民健康保険者の特定健康診査(40歳~74歳)の受診率は令和2年度(29.3%)まで減少傾向にありましたが、令和3年度(32.0%)、令和4年度(34.4%)と2年連続で2ポイント以上、増加しました。 出典:第5期 新宿区健康づくり行動計画(P.72)なお、東京都全体の令和4年度受診率の43.1%と比べると8.7%ほど低い。 出典:令和4年度 市町村国保特定健康診査・特定保健指導実施状況報告(P.5)
② 地域課題· 社会的課題	健康診断等を毎年受けている割合を、男女年齢 2 階級別でみると、「毎年受けている」は「男性(20~64歳)」が 77.4%と最も高く、次いで「女性(20~64歳)」が 68.0%、「男性(65歳以上)」が 64.4%、「女性(65歳以上)」が 57.1%、と続いている。 なお、全体でみると新宿区で「毎年受けている」は 68.7%で、東京都区市町村平均の 72.7%と比べて低い割合であった。 出典:令和2年度 都民の健康や地域とのつながりに関する意識・活動状況調査報告書(P.78)
	介護が必要となった主な原因について、性別でみると男性の場合は「脳血管疾患(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血等)」が15.9%と最も高く、次いで「高齢に衰弱」「認知症」の順となっています。女性の場合は「骨折・転倒」が17.7%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」「関節の病気(リウマチ・変形性膝関節症等)」の順となっています。 出典:第5期 新宿区健康づくり行動計画(P.14)

新宿区の施策として保健センターで各種検査の事業は実施されていますが、平日 のみの事業であり、就労の事情などから平日に保健センターでの当該事業を受け にくい区民の方々も少なからずいる状況が推察されます。

また、国は健康寿命の延伸に取り組んで久しいですが、平均寿命との差はなかな か縮まっておりません。このような現状のなかで健診受診率は仕事をリタイアさ れた方々や家庭に入られている主婦の方々は低率であり、当会の活動が少しでも ご自身の健康維持・管理のための気づきとなればと思います。

## I.イベント(会議)名:(健康体験フェアと健康セミナー)

## ア イベント (会議) の開催予定等

活動内容:健康体験フェアで骨密度、血管年齢、肌年齢、ヘモグロビン濃度、AGEs 検査(老化の原因物質)、認知症関連などの測定を行い(機器は未定)、 現状を把握いただく。健康セミナーで講師が各種臨床検査の有用性な どについて 13 時から 30 分程度 1 回ご説明する予定です。

実施期間: R6年6月 ~ R7年3月

実施回数:(1)回/月(年)

実施場所:オンライン・(会場)(大久保地域センター多目的ホールを予定)

## イ 対象者及び参加予定人数

対象者:50名

参加予定人数: のべ(50)名

## ウ 周知

#### ③ 活動内容

(イベントが複数ある場合 は、こちらのページを複写 して作成してください)

#### <媒体>

■ ポスター ■ チラシ ■ HP □その他(

<周知先>

■ 区施設(特別出張所、地域センター等) ■ 区直営掲示板

■ その他 (ポスティング)

## エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載)

講師等 団体構成員 (10)名 ( )名 アルバイト ( )名 ボランティア()名

## Ⅱ.イベント(会議)名:(健康体験フェアと健康セミナー)

#### ア イベント(会議)の開催予定等

活動内容:健康体験フェアで骨密度、血管年齢、肌年齢、ヘモグロビン濃度、AGEs 検査(老化の原因物質)、認知症関連などの測定を行い(機器は未定)、 現状を把握いただく。健康セミナーで講師が各種臨床検査の有用性な どについて13時から30分程度1回ご説明する予定です。

実施期間: R6年6月 ~ R7年3月

実施回数:(1)回/月年

実施場所:オンライン・ 会場 (柏木地域センター多目的ホールを予定)

	イ 対象者及び参加予定人数
	対象者:50名
	参加予定人数: のべ(50)名
	■ ポスター ■ チラシ ■ HP □その他( )
	<周知先>
	┃■ 区施設(特別出張所、地域センター等)  ■ 区直営掲示板
	■ その他(ポスティング)
	エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載)
	団体構成員 ( 10 )名 講師等 ( )名
	アルバイト ( )名 ボランティア ( )名
	ア 事業実施にあたっての具体的な安全対策
	。
	1、緊急事態が発生した場合に備え会場と非常口の位置を確認し、緊急避難
	時の手順と経路をスタッフ等へ周知徹底する。
	2、事前に会場施設に訪問し、施設の方へご相談と指示を仰ぎます。
④ 安全対策等	
(箇条書きで	イ 事業実施にあたっての感染症等への対策
ご記入ください)	
	1、会場の出入り口と各測定機器の隣に手指消毒剤を配置し、ご来場の方に
	ご使用いただく。
	2、各測定機器で足首や手指など触れた箇所を測定の都度にアルコールで
	清拭する。
	3、スタッフ等は手指消毒を励行し、マスクを着用する。
	ア 区民や地域社会への成果・効果
	区民の皆様に参加していただき、まずは健康体験フェアの簡易検査と健康セミ
	ナーでご自身の現在の状態を把握していただき、健康に対し興味を持っていた
	だくきっかけとなることが期待できます。この体験が今後の健診受診率向上に
	も繋がり、結果的に医療費削減にも繋がるものと思います。
   ⑤ 期待される効果	イ 現状や課題に対する成果・効果
	保健センターでの各種検査の事業を平日に受けられない区民の皆様に土曜日や
	日曜日にも体験いただけることにより、より多くの皆様への検査の機会拡大に
	貢献できるものと考えております。
	また、健康体験フェアで骨密度測定検査などを体験いただくことにより日頃の
	健康管理への意識が向上し、要支援・要介護認定者及び給付金支給額の増加が

少しでも抑えられる効果に繋がることが期待されます。

<ul><li>⑥ 先駆性・専門性</li></ul>	当会の執行部には著名な医師や専門性の高い医療従事者が在籍しております。 各種委員会を設置し、国民の健康維持管理と医療の発展に貢献することを目的に 多岐にわたる事業活動を展開しております。活動エリアは全国を対象に国民の健康 増進に寄与する活動を行っております。				
⑦ 今後の展望	来年度以降も当会の事業目的を遂行するため事業活動を展開して参ります。この事業活動の維持と向上のため、会員ならびに賛助企業を拡大し事業の自己予算の確保を推進いたします。 各助成金の活用で事業活動の地域を中野区から隣接の新宿区や杉並区へ拡大し、より多くの区民の皆様の健康増進に貢献して参ります。				
	助成年度(	)			
⑧ 過去にこの助 成を受けた実績	助成年度(    )   事業名(	)			
	助成年度( 事業名(	)			
	■ 有 □ 無				
<ul><li>⑨ この事業に対する他の助成の有無 (申請中のものを含む)</li></ul>	有の場合は、助成名称(団体)及び助成額 助成名(団体名): ①杉並区 NPO 支援基金 助成額:300, ②中野区 区民公益活動に関する助成 助成金額:200 各区民を対象とした地域限定事業です。 ※新宿区の他の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられからの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります 同事業で新宿区外の補助金へ申請される際は、必ずご相談ください。	,000円 (申請予定) ません。新宿区以外の団体			

## 収支予算書

	費目		予算額	内 訳
		①使用料及び賃借料	342,900 円	地域センター会場使用料(各多目的ホール 午前午後1・2) (大久保) 4,000円×3コマ×1日=12,000円 (柏木) 4,700円×3コマ×1日=14,100円 測定機器レンタル料 (68,200円+30,800円+26,400円+33,000円) ×2日=316,800円
		②消耗品及び印刷費	36,605 円	チラシ印刷(A4両面カラー) 約5.71円×800枚×1.1=5,029円 ポスター印刷(A1片面カラー)1,435.3円×20枚×1.1=31,576円 ※見積書を基に算定
		③委託費	0 円	
		④講師謝礼	0 円	
	事 業 費	⑤その他謝礼	0 円	
支		⑥交通費	18,000 円	1,000円×2日×9名=18,000円
出		⑦保険料	0 円	
Ш		⑧その他諸経費	0 円	
区分		⑨感染症等対策経費	14,000 円	手指消毒剤代 1,000円×7本=7,000円 アルコール消毒シート1000円×5個=5,000円 マスク代2,000円
		⑩人件費	137,168 円	(団体構成員分) 時給1,200円×5.5時間×9人×2日=118,800円 (団体構成員講師分) 10,000円×1人×2日=20,000円 うち1.632円は助成対象外経費へ
	事業費(①から⑩の合計)		548,673 円	
	<ul><li>①ファンドレイジングに関する経費</li></ul>		0 円	
	迎助成対象経費 (事業費+⑪)		548,673 円	
	③助成対象外経費		1,632 円	
	事業総額			550,305円

	内 容	予算額	積 算 根 拠(内 訳)	
	⑦ 事業収入 (参加料、資料代等)	50,000 円	参加料 500円×50名×2日=50,000円	
収-	① 寄附金	0 円		
入区	⑦ 補助金等収入	0 円		
分	(三) 協働推進基金助成金	370,000 円		
	团体負担金	130,305 円		
	収入総額	550,305円		